

ダイワ／バリュー・パートナーズ チャイナ・カーボン・ ニュートラル・フォーカス

運用報告書(全体版) 第3期

(決算日 2023年4月14日)

(作成対象期間 2022年10月15日～2023年4月14日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2021年10月15日～2026年10月14日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資法人「バリュー・パートナーズ・ファンズ・エスピーシー」が発行する「バリュー・パートナーズ・チャイナ・カーボン・ニュートラルリティ・ファンド・エスピー（クラスZ）」の投資証券（円建）	
		ロ. ダイワ・マネーデポジット・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、中国のカーボンニュートラル関連企業の株式に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI China A Index (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末(2022年 4 月14日)	8,475	0	△ 15.3	9,312	△ 6.9	—	99.0	1,071
2 期末(2022年10月14日)	9,059	0	6.9	9,164	△ 1.6	—	99.0	1,509
3 期末(2023年 4 月14日)	7,950	0	△ 12.2	9,276	1.2	—	99.0	969

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI China A Index (配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI China A Index (配当込み、人民元ベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI China A Index (配当込み、人民元ベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

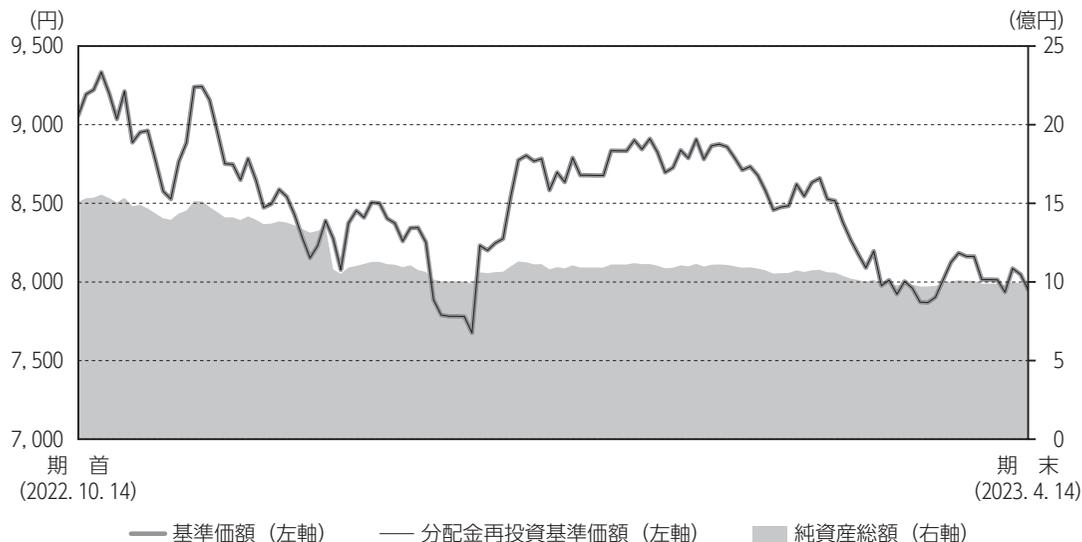
(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：9,059円

期末：7,950円（分配金0円）

騰落率：△12.2%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンド」の投資証券を通じて、中国のカーボンニュートラル関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）に投資を行い運用した結果、保有株式が下落したことや、外国為替相場で円高が進行したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

※チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンド：バリュー・パートナーズ・チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンド・エスピー（クラスZ）

年 月 日	基 準 価 額		MSCI China A Index (配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2022年10月14日	円 9,059	% —	9,164	% —	% —	% 99.0
10月末	8,576	△ 5.3	8,722	△ 4.8	—	98.9
11月末	8,230	△ 9.2	8,923	△ 2.6	—	99.2
12月末	8,201	△ 9.5	8,670	△ 5.4	—	99.2
2023年 1 月末	8,902	△ 1.7	9,535	4.0	—	99.1
2 月末	8,476	△ 6.4	9,421	2.8	—	99.4
3 月末	8,125	△ 10.3	9,257	1.0	—	99.0
(期末) 2023年 4 月14日	7,950	△ 12.2	9,276	1.2	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 10. 15 ~ 2023. 4. 14)

中国・香港株式市況

中国・香港株式市況は上昇しました。

中国・香港株式市場は、当作成期首から2022年10月末にかけて、米中関係の悪化や習近平中国国家主席への権力集中に対する懸念、政策の不透明感などを背景に下落しました。その後は、ゼロコロナ政策の撤廃に伴う経済活動の再開や、米国の金融引き締めペース減速への期待感に加えて、中国当局によるテクノロジー企業への規制緩和や不動産業界に対する支援策が発表されたことが好感され、2023年1月末にかけて株価は大幅に上昇しました。3月下旬にかけては、偵察気球を巡る米中の対立や、3月初旬の全国人民代表大会（全人代）において発表された2023年の実質GDP（国内総生産）成長目標が5%と保守的であったことが市場参加者からの失望を誘い、軟調に推移しました。その後は当作成期末にかけて、IT大手の好決算が好感されたことや欧州との関係改善期待から、やや反発しました。

為替相場

対円為替相場は、香港ドル、中国・人民元ともに下落（円高）しました。

中国の緩和的な金融政策や景気悪化懸念に加えて日銀による想定外の政策修正を受けて円高米ドル安が急速に進行したことや、信用不安の広がりから米国金利が大きく低下したことなどを背景に、中国・人民元、香港ドルともに対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

「チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンド」への投資割合を高位に維持することによって、中国のカーボンニュートラル関連企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンド

1. 主として、中国のカーボンニュートラル関連企業の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。
2. ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針を基本とします。
 - ・財務状況、収益性およびバリュエーションなどをもとに定量的なスクリーニングを行い、銘柄の絞り込みを行います。

- ・選定された銘柄について、財務分析や企業訪問を含む全方位的なボトムアップ・アプローチを用いたファンダメンタル分析を行います。
- ・各銘柄の本源的価値からの割安度合いや株価が是正されるきっかけとなる事象に基づく確信度合いなどを勘案し、ポートフォリオを構築します。

3. 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。

■ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行います。

ポートフォリオについて

(2022. 10. 15 ~ 2023. 4. 14)

■当ファンド

当ファンドは、「チャイナ・カーボン・ニュートラルリティ・ファンド」と「ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「チャイナ・カーボン・ニュートラルリティ・ファンド」への投資割合を高位に維持しました。

■チャイナ・カーボン・ニュートラルリティ・ファンド

主として、中国のカーボンニュートラル関連企業の株式への投資を通し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。市場別では香港市場、上海A株市場、深センA株市場、業種別では資本財・サービス、公益事業、情報技術の銘柄を中心としたポートフォリオ構成としました。

■ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド

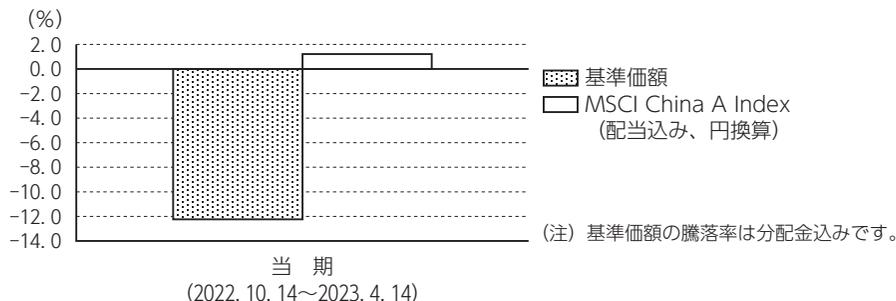
流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

※当ファンドにおける中国のカーボンニュートラル関連企業とは、中国に主たる拠点を有している、中国国内の株式市場に上場している、収益の大部分を中国であげているまたは主たるビジネスを中国で行っている企業のうち、カーボンニュートラル関連ビジネスに直接的もしくは間接的に取り組む企業または強固なカーボンニュートラルの方針を掲げて実践している企業をいいます。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2022年10月15日 ～2023年4月14日	
当期分配金 (税込み)	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」

は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンド」への投資割合を高位に維持することによって、中国のカーボンニュートラル関連企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

■チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンド

1. 主として、中国のカーボンニュートラル関連企業の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。
2. ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針を基本とします。
 - ・財務状況、収益性およびバリュエーションなどをもとに定量的なスクリーニングを行い、銘柄の絞り込みを行います。
 - ・選定された銘柄について、財務分析や企業訪問を含む全方位的なボトムアップ・アプローチを用いたファンダメンタル分析を行います。
 - ・各銘柄の本源的価値からの割安度合いや株価が是正されるきっかけとなる事象に基づく確信度合いなどを勘案し、ポートフォリオを構築します。
3. 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。

■ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行います。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 10. 15～2023. 4. 14)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	52円	0.617%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,501円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(35)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	53	0.621	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

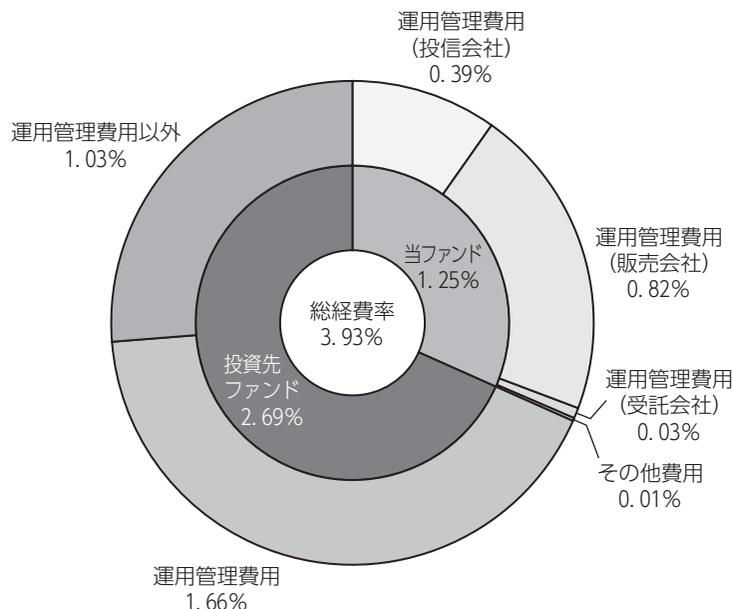
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.93%です。



総経費率 (① + ② + ③)	3.93%
①当ファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.66%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.03%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資証券

(2022年10月15日から2023年4月14日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 1.036508 (—)	千円 9,000 (—)	千口 44.864364 (—)	千円 389,100 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資証券

(2022年10月15日から2023年4月14日まで)

買 付 銘 柄	当 期			平均単価 円	売 付 銘 柄	当 期		
	□ 数	金 額	平均単価			□ 数	金 額	平均単価
VALUE PARTNERS CHINA CARBON NEUTRALITY FUND SP (CLASS Z) (JPY UNHEDGED) (ケイマン諸島)	千口 1.036508	千円 9,000	円 8,683		VALUE PARTNERS CHINA CARBON NEUTRALITY FUND SP (CLASS Z) (JPY UNHEDGED) (ケイマン諸島)	千口 44.864364	千円 389,100	円 8,672

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド	千口 101	千口 101	千円 100

(注) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資証券 (ケイマン諸島) VALUE PARTNERS CHINA CARBON NEUTRALITY FUND SP (CLASS Z) (JPY UNHEDGED)	千口 117.922192	千円 960,358	% 99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年4月14日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 960,358	97.1 %
ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	28,492	2.9
投資信託財産総額	988,952	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年4月14日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,000,652,058円
コール・ローン等	16,792,939
投資証券 (評価額)	960,358,332
ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド (評価額)	100,788
未収入金	23,399,999
(B) 負債	30,789,917
未払金	11,700,000
未払解約金	11,870,260
未払信託報酬	7,171,945
その他未払費用	47,712
(C) 純資産総額 (A - B)	969,862,141
元本	1,219,884,342
次期繰越損益金	△ 250,022,201
(D) 受益権総口数	1,219,884,342口
1万口当り基準価額 (C/D)	7,950円

* 期首における元本額は1,666,370,817円、当作成期間中における追加設定元本額は40,457,644円、同解約元本額は486,944,119円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は7,950円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は250,022,201円です。

■損益の状況

当期 自 2022年10月15日 至 2023年4月14日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 7,297円
受取利息	847
支払利息	△ 8,144
(B) 有価証券売買損益	△ 125,983,378
売買益	25,451,335
売買損	△ 151,434,713
(C) 信託報酬等	△ 7,219,657
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 133,210,332
(E) 前期繰越損益金	△ 121,425,734
(F) 追加信託差損益金	4,613,865
(配当等相当額)	(△) 5,484
(売買損益相当額)	() 4,619,349
(G) 合計 (D + E + F)	△ 250,022,201
次期繰越損益金 (G)	△ 250,022,201
追加信託差損益金	4,613,865
(配当等相当額)	(△) 5,484
(売買損益相当額)	() 4,619,349
繰越損益金	△ 254,636,066

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	0
(h) 受益権総口数	1,219,884,342口

チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンド

当ファンド（ダイワ／バリュー・パートナーズ チャイナ・カーボン・ニュートラル・フォーカス）はケイマン籍の外国投資法人「バリュー・パートナーズ・ファンズ・エスピーシー」が発行する「バリュー・パートナーズ・チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンド・エスピー（クラスZ）」の投資証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

貸借対照表

2022年3月31日

	米ドル
資産	
金融資産（損益通算後の評価額）	7,852,322
未収配当金、未収利息、その他未収金	39,386
現金および現金同等物	1,751,136
	<hr/>
資産合計	9,642,844
	<hr/>
負債	
ブローカーに対する未払金	85,048
未払運用報酬	4,893
未払金、その他未払費用	26,222
	<hr/>
負債合計	116,163
	<hr/>
資本合計	9,526,681
	<hr/>
償却可能な資本が参加する受益証券の保有者に帰属する純資産	9,526,681
	<hr/>
償却可能な資本が参加する受益証券一口当り純資産額 クラスZ（円建）133,779口	71.21
	<hr/>

損益計算書

2022年3月31日に終了する会計年度

	米ドル
投資収益	
配当収益	680
受取利息	177
金融資産（損益通算後の評価額）による実現損益	(983, 691)
金融資産（損益通算後の評価額）による評価損益の変動	(1, 242, 140)
外国為替差損益	(48, 214)
	<hr/>
	(2, 273, 188)
	<hr/> <hr/>
営業費用	
運用会社報酬	30, 189
管理会社報酬および保管会社報酬	6, 813
取引費用	33, 283
創業費	3, 918
監査報酬	28, 001
弁護士費用および専門家報酬	1, 598
その他営業費用	10, 502
	<hr/>
	114, 304
	<hr/> <hr/>
当期の税引後損失及び包括利益合計額	(2, 387, 492)
	<hr/> <hr/>

組入明細表
2022年3月31日現在

保有銘柄	保有数	評価額 (米ドル)	純資産比 (%)
上場株式			
中国			
China Yangtze Power Co Ltd A Shrs (SSC)	123,000	426,070	4.48%
Contemporary Amperex Technology Co Ltd A Shrs (SZHK)	3,800	306,523	3.22%
Eve Energy Co Ltd A Shrs (SZHK)	7,371	93,625	0.98%
Hangzhou First Applied Material Co Ltd A Shrs	10,600	189,417	1.99%
Hongfa Technology Co Ltd A Shrs (SSC)	15,400	114,523	1.20%
Huaneng Lancang River Hydropower Inc A Shrs (SSC)	437,917	401,300	4.21%
JA Solar Technology Co Ltd A Shrs (SZHK)	27,266	337,785	3.55%
LONGi Green Energy Technology Co Ltd A Shrs (SSC)	47,400	538,778	5.66%
Luxshare Precision Industry Co Ltd A Shrs (SZHK)	18,140	90,542	0.95%
Ming Yang Smart Energy Group Ltd A Shrs (SSC)	80,900	282,403	2.96%
NARI Technology Co Ltd A Shrs (SSC)	92,120	456,753	4.79%
Suzhou Maxwell Technologies Co Ltd A Shrs (SZHK)	2,500	207,123	2.17%
Wuxi Lead Intelligent Equipment Co Ltd A Shrs (SHZK)	23,200	213,478	2.24%
Zhejiang Jingsheng Mechanical & Electrical Co Ltd A Shrs (SZHK)	28,000	264,523	2.78%
		3,922,843	41.18%
香港 - H株			
BYD Co Ltd H Shrs	9,000	257,951	2.71%
China Longyuan Power Group Corp Ltd H Shrs	226,000	514,962	5.41%
Fuyao Glass Industry Group Co Ltd H Shrs	69,600	286,244	3.00%
Ganfeng Lithium Co Ltd H Shrs	15,600	223,159	2.34%
		1,282,316	13.46%
香港 - その他			
China Power International Development Ltd	1,147,000	610,901	6.41%
China Resources Power Holdings Co Ltd	100,000	188,265	1.98%
GCL-Poly Energy Holdings Ltd	322,000	110,632	1.16%
JD.com Inc	290	8,667	0.09%
Li Ning Co Ltd	11,000	94,975	1.00%
Meituan	4,800	95,394	1.00%
NetEase Inc	8,400	154,280	1.62%
Tencent Holdings Ltd	3,000	143,383	1.51%
Xinyi Solar Holdings Ltd	134,000	236,529	2.48%
		1,643,026	17.25%
韓国			
LG Energy Solution	40	14,594	0.15%

ダイワ／バリュー・パートナーズ チャイナ・カーボン・ニュートラル・フォーカス

保有銘柄	保有数	評価額 (米ドル)	純資産比 (%)
米国預託証券			
Li Auto Inc ADR (1 ADR Reprs 2 Shrs)	5,942	153,363	1.61%
NIO Inc ADR (1 ADR Reprs 1 Ord Shrs)	4,680	98,514	1.03%
XPeng Inc ADR (1 ADR Reprs 2 Shrs)	3,565	98,358	1.03%
		350,235	3.67%
P ノート			
CLSA Global Markets Pte Ltd (Centre Testing International Group Co Ltd) CWts 10/19/2026	94,700	293,665	3.08%
CLSA Global Markets Pte Ltd (Ningbo Ronbay New Energy Technology Co Ltd A Shrs) CWts 10/19/2026	16,940	345,643	3.63%
		639,308	6.71%
金融資産合計 (損益通算後の評価額)		7,852,322	82.42%
現金および現金同等物		1,751,136	18.38%
その他純負債		(76,777)	(0.80%)
純資産		9,526,681	100%

<補足情報>

当ファンド（ダイワ／バリュー・パートナーズ チャイナ・カーボン・ニュートラル・フォーカス）が投資対象としている「ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2023年4月14日）現在におけるダイワ・マネーデポジット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーデポジット・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年10月15日～2023年4月14日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2023年4月14日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド

運用報告書 第2期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネーデポジット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

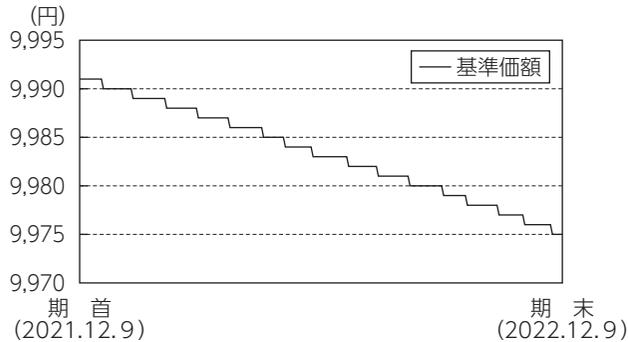
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比	
(期首)2021年12月9日	円 9,991	% -	% -
12月末	9,990	△0.0	-
2022年1月1日	9,989	△0.0	-
2月末	9,988	△0.0	-
3月末	9,987	△0.0	-
4月末	9,985	△0.1	-
5月末	9,984	△0.1	-
6月末	9,983	△0.1	-
7月末	9,981	△0.1	-
8月末	9,980	△0.1	-
9月末	9,978	△0.1	-
10月末	9,977	△0.1	-
11月末	9,976	△0.2	-
(期末)2022年12月9日	9,975	△0.2	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,991円 期末：9,975円 騰落率：△0.2%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移し

ました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 1,087	% 100.0
投資信託財産総額	1,087	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,087,768円
コール・ローン等	1,087,768
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A - B)	1,087,768
元本	1,090,486
次期繰越損益金	△ 2,718
(D) 受益権総口数	1,090,486口
1万口当り基準価額(C / D)	9,975円

* 期首における元本額は1,095,501円、当作成期間中における追加設定元本額は100,101円、同解約元本額は105,116円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 マネーデポジット資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用） 989,384円
 ダイワ/パリュウ・パートナーズ・チャイナ・カーボン・ニュートラル・フォーカス 101,102円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,975円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,718円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△1,788円
受取利息	8
支払利息	△1,796
(B) 当期損益金(A)	△1,788
(C) 前期繰越損益金	△ 956
(D) 解約差損益金	127
(E) 追加信託差損益金	△ 101
(F) 合計(B + C + D + E)	△2,718
次期繰越損益金(F)	△2,718

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。